

市民との対話事業 **市長とふれあいトーク**

実施日時	平成24年7月4日（水）（19:00～20:00）		
実施場所	七和会館	参加人数	31人
参加対象	七和地区振興会		
市側の出席者	市長 総務課主事、税務課主事		
懇談内容	<p><b>【懇談要旨】</b></p> <p><b>1. 発言者</b> 十日町病院新病棟建設について</p> <p>① 現在の十日町病院の駐車場は、狭く不便を感じている。新病院建設に伴い、外来駐車場を最重要視してもらいたい、市長はどのようにお考えか。</p> <p>② 平成27年を目標に十日町病院を県立から民間等への運営にするがあるが、受け入れ先がない場合はそのまま県立で運営をするのか。</p> <p>③ 人工透析について、十日町病院は現状が精一杯のようだが、小千谷病院十日町診療所では外来から入院まで、全ての透析を対応できている。この差はどこから生じてくるのか。</p> <p><b>A. 関口市長</b> 十日町病院新病棟建設について</p> <p>① 現在の規模から150台分は増えてほしいと考えている。裁判所の土地等も県に取得するよう要望している。</p> <p>② 現在はどこが行うかは決まっていない。決まらなければ県立での運営になると思う。</p> <p>③ 小千谷病院ががんばって十日町市で実施していただいているので、十日町病院側から譲り受けたいとはなかなか言えないのではないかと。現状で市内の透析施設が足りないとは聞いていない。</p> <p><b>2. 発言者</b> 火焰型土器のアピールについて</p> <p>① 火焰型土器をモチーフにしたお菓子や焼物を販売することはできないだろうか。特別支援センターの方に作っていただくことは可能か。</p> <p>② 観光客へのアピールのため、火焰型土器のレプリカを商店街に並べることができないか。</p> <p>除雪について</p> <p>① 市長の政策で、除雪費の無料化とあったが、今まで町内費で対応して</p>		

いた除雪費用まで無料化になるのか。

- ② 雪捨て場の対応も市で行ってくれるのか。現在は町内の田などに押し込めているのが現状である

#### A. 関口市長

火焰型土器のアピールについて

- ・ 火焰土器のPRは足りなかったと感じている。PRについては、①発見地の笹山を1つの拠点にする。②博物館の勉強する所という面を強化する。③芸術品として発信する。という、3つを考えている。①については、笹山のまつりなどのイベントを市内に広めたい。②については、市民参加型の再発掘調査などを行う。③については、稲葉の「星と森の美術館」などに飾ったり、キナーレ内にレプリカを展示するなど行っていく。お菓子や焼き物などは、市民の皆さんからもアイデアをお出しいただき、商品化の検討をお願いしたい。

除雪について

- ① 市道は市が実施するし、屋根雪を道路に落とさないといけないようなところは新たな補助をするつもりだ。認定外道路についても今までより負担を軽くする方向で調整している。
- ② 市が雪捨て場の対応をするのは難しい。町内の皆さんが行っているからうまくいっている部分があると思う。これは除雪費を抑制するためにも必要なことなので、市内全域に波及させたい。

#### 3. 発言者

- ・ 市民文化ホール建設について、収容人数は約 600～800 人程とのことだが、どうせなら 1000 人以上収容可能な大ホールを建設して、のど自慢ができるようなホールにしてもらいたい。

#### A. 関口市長

- ・ 規模については、検討会で舞踊や歌謡を行っている人や、有識者から意見をうかがうなどして、維持費や入数を勘案した中に出てきたものである。現在の市民会館でも満員になるのは年に数回と聞いている。十日町市の適正な規模を見極める必要がある。